

静岡発のお茶技術でケニア初の蒸製緑茶生産を目指す ～ケニアの茶業開発関係者が静岡県で実地研修～

2019年6月17日(月)から12日間の日程で、ケニア茶業開発機構(KTDA)から3名が来日し、日本における茶栽培・加工技術に関して、下記の日程で静岡県内の関連企業にて研修を行います。

落合刃物工業株式会社（菊川市、落合益尚代表取締役社長）、株式会社寺田製作所（島田市、寺田均代表取締役社長）、企業組合静岡機械製作所（静岡市、磯谷豊代表理事）は、日本国内で培った実績と経験を活かし、ケニア茶産業における小規模農家の収入向上に資するため、乗用型摘採機と荒茶製造ライン、仕上げライン機の有用性を実証し、蒸製緑茶およびこれらの機械の普及方法を検討することを目的に、独立行政法人国際協力機構（JICA）の行う「中小企業・SDGs ビジネス化事業～普及・実証・ビジネス化事業～」を2019年2月より実施しています。

ケニアのお茶は、同国における総外国為替収入の16%を占めており、主要な輸出品の一つです。その茶産業は、約300万人の小規模農民によって支えられていますが、近年、ケニア産の茶葉の価格低下と売上の低迷が続いており、小規模農家の受け取る収入は低水準かつ不安定な状況であり、農家の収入向上・安定化に向けたケニア茶葉競争力の向上が課題となっています。小規模農家の収入が低い原因として、①生産効率性が低い、②生産されている茶葉が安価なものである、③先進国市場に販路がない、の3点が挙げられます。これらの課題解決に向け、乗用型摘採機、荒茶製造ライン、仕上げライン機一式による日本式の蒸製緑茶生産の普及が期待されています。

本研修は、この事業の一環として実施するもので、ケニアにて導入を目指す一連の機械の運用・維持管理に係る研修を通じて、お茶栽培・加工技術のさらなる理解向上を図ります。

来日中の取材可能日は以下のとおりです。取材をぜひご検討ください。

日付		内容	場所
6/18(火)～ 6/20(木)	終日	落合刃物工業(株)による摘採技術の講義、乗用型摘採機、可搬型摘採機の操作・メンテナンス講習	落合刃物工業株式会社(菊川市)
6/21(金)～ 6/24(月) ※23日(日)を除く	終日	(株)寺田製作所による製茶技術の講義及び荒茶製造ラインの操作・メンテナンス講習	株式会社寺田製作所(島田市)
6/25(火)～ 6/27(木)	終日	企業組合静岡機械製作所による仕上げ技術の講義及び仕上げラインの操作・メンテナンス講習	企業組合静岡機械製作所(静岡市)

取材を希望される場合は事前に下記までご連絡をお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 連携推進課 担当：木村
 TEL：052-533-1387 E-mail：Kimura.Yuri@jica.go.jp